

カムローズ メイン・ストリート・プロジェクト



2005 年 年次報告書
Annual Report

2006 年 3 月

1. はじめに (Introduction)

カメローズ・メインストリート・プロジェクト (CMSP; Camrose Main Street Project) は1999年12月にスタートした。最初の3年契約が2年間延長 (2004年12月まで)、2005年には2006年末までの延長が決定され、現在CMSPではさらに2年間の延長を求めている。

2. 4 ポイントアプローチの展開

(1) 組織 (Organization)

諮問委員会メンバー (役員会; Membership on advisory board) は1999年後半以降ほとんど変わっていない。しかし2005年末に初代メンバーであったマイク・プロナー氏 (Mike Ploner) が仕事と家庭の事情により辞任した。マイク氏の宣伝・広告に関する専門知識はCMSPにとって貴重であり、未だ後任は不在である。

(2) デザイン (Design)

グローブスのパリュウ・ドラッグ・マート (Value Drug Mart Building) 改修事業

この事業の完成によって、連担する4つの建物も併せて修復あるいは改善の事業が行われ、グローブス事業の波及効果が認められた (下図参照; 写真1)。



写真1 / ラ・スカーラ (LaScala) からグローブス (Groves) までの店舗

建物所有者と事業主はいずれも完成結果に非常に満足している。また、薬局のオーナーは建物内部の改装も行っている。

ストリー (Stolee Building) 改修事業

ストリーは長老派の教会として1908年に建設された建物である。1950年代初めには、上部を住居とした商業建築物に改築された。ゲイル&デービッド・ストリー (Gail and David Stolee) は2005年に建物を購入。彼らは上階の部屋を取り壊して質の高いものに作り直し、外装工事にはスタッコの修復や塗装を盛り込んだ。仕上げのペンキ塗装では春にスタッコを塗布し、一新された窓の日よけ部分を再度取り付ける予定である。



写真2 / ストリーの建物

プレジジョン・バキューム (Precision Vacuum Building) 改修事業

2005年、CMSPは建物所有者に外観の塗替えをするよう説得した。当初の作業は2001年に完了していたが、塗装屋が作業段階で間違った下塗剤を使用したため、ペンキが1年で剥げ落ちてしまっていた。塗装屋はその後倒産。塗替え代金は建物所有者とCMSPが負担した。

ナターズビル (Nutter's Building) 改修事業

外観の一部を塗装改装した。使用した色はダウントウンでよく見掛ける色と調和させている。

看板デザイン設置事業

ワット・トゥ・ウェア (What to Wear) とティッシュズ・ファッション (Tish's Fashions) の両事業主と共に企業看板のデザインを行った。



写真3 / 看板

インスピレーション・スパ&サロン (Inspiration Spa & Salon) 改修事業

事業主と建物の修復工事について共同作業を行っている。その建物は1928年にカムローズ・フリーメーソン支部 (Camrose Masonic Lodge) により建設されたものである。2005年には上階部分の窓を新たに購入し、2006年に取付け予定である。

刻印看板の設置事業

ミラーにあるアルバータ鑄造工場 (Alberta Foundry) の協力により、7つの建物用に鑄造アルミニウム製の刻板をデザインした。これらの刻板は2006年に取付け予定である。



写真4 / サンプソン建物の刻板

(3) マーケティング (Marketing)

CMSPはツーリズム・カムローズ (Tourism Camrose) と共に年間を通して活動を続けてきた。しかし、設立以来CMSPがカムローズ市の観光促進のために行ってきたことが十分評価されるには未だ至っていない。

シティセンター・カムローズ (City Center Camrose) と位置づけられているダウンタウンの「ビジネス再活性化ゾーン (BRZ; business revitalization zone/アメリカのBIDと同様の地区指定)」と、「トラベル・アルバータ (Travel Alberta)」との協力により、カムローズに観光委員会が設置された。カムローズ市からの財政支援を受け、観光コーディネーター (MIH Consulting 社) が雇用されている。2005年、ツーリズム・カムローズは登録組合となった。

ツーリズム・カムローズのウェブサイト www.tourismcamrose.com が2005年に開設された。ツーリズム・カムローズでは温室ツアー (greenhouse tour)、ゴルフと宿泊のセット等を盛り込んだパッケージ・ツアーを企画するために複数企業と協力し、2006年向けの新たなパッケージ・ツアーをいくつか予定している。

ツーリズム・カムローズを通じて、ハイウェイ21とカムローズへと続くハイウェイ13の南北線の交差点に立てられた新しい観光用の行き先案内板に「歴史的ダウンタウン」の文字を加筆することになっている。

CMSPとBRZの共同によるウェブサイト www.DowntownCamrose.com が2005年初めに開設された。ウェブサイトへのアクセス件数は一日約70件である。

また、CMSPとBRZは、ブームタウン・トレイル (The BoomTown Trail) とツーリズム・レッド・ディア (Tourism Red Deer) との共同広告にも取り組んだ。

(4) 経済開発 (Economic Development)

ダウンタウンの経済開発にとって、2005年は混乱の年でもあった。

最大の出来事は、グレッグ&ジュディ・スチュワート (Greg and Judy Stewart) による元バーゲンショップとウールワースの建物買収である。彼らは建物を3つに区分し、ダウンタウンにあった2つの企業をその建物に移転させた。彼らの息子が残りの店舗で企業をオープンさせている。

この建物はちょうどメインストリート敷地の外側に面している。彼らは建物の外観を修繕し、CMSPが他の建物で実施したものと調和を図って看板と照明を取り付けた。

彼らの新しい建物から道路を隔てたところにある以前の建物の一つは、2006年当初に彼らの2つの企業を統一している人に売却された。CMSPはファサードのデザイン改修についてオーナー側と一緒に取り組んでいる。

しかし残念なことは、ダウンタウンへの入口の向上を図る一方で、これら2つの移転がメインストリートに空店舗を残すことになる。

数年間、空店舗となっていたもう一つの以前のウールワースの建物を、2005年に地元オーナーが購入した。彼は自宅で運営していた事業をこの建物に移転した。

2004年には50番街北ブロックにあったピアソン V&S (Pearsons V&S) 店が火災で崩壊した。メインストリートの建築家の設計により新たな外観を持つ建物として建設され、2005年に営業を再開した。しかし残念ながら中心市街地地区で起きたこの変化により、火災後、客足が遠退き、オーナーは2006年1月末で閉店することを決めた。これは50番街北ブロックの東側に空店舗を拡大させてしまう結果となることが懸念されている。



写真3 / ピアソン店 (火災後の改修)

2005年は全体的にダウンタウンの企業にとって最高の年であった。多くの小売業者がクリスマス前の売上げが過去10年間で最高だったと報告しているからである。

CMSPカムローズは、新たなアルバータ警察や警察官カレッジ (Alberta Police and Peace Officer College) のためにカムローズ入札の支援文書を送付した。

3. 特別プロジェクト (Special Projects)

地域再開発計画の策定

CMSP の役員メンバーと BRZ は、2005 年にカムローズ市に対し、ダウンタウンの「**地域再開発計画 (Area Restructure Plan; ARP)**」に着手するために正式申請を行った。市議会は 2005 年 12 月に申請を承認し、2006 年の市予算にその内容を盛り込んだ。

CMSP と BRZ の願いはダウンタウン内の建物所有者、事業者、住民からの多くの情報提供を地域再開発計画へ盛り込むことである。また、**アルバータ州立大学オーガスタナ学部 (Augustana Faculty, University of Alberta)** においても計画提案を希望している。

ダウンタウンにおける駐車場調査やダウンタウン再開発に関する討議資料など、いくつかの活動は既に準備に着手している。2006 年春に**グレーター・ダウンタウン・カムローズ行動計画 (Greater Downtown Camrose Action Pan)** が市議会より承認されれば、早々に多くの活動が始動するものと期待される。

イベント、祝賀などの活動拠点整備事業

2005 年初めにはダウンタウンにイベントや祝賀などの活動拠点をつくるための計画が始まった。

この計画は、**カムローズ・ファンダース広場 (Camrose Founders Square)** の整備事業で、地元アーティストである**オードリー・ファンミュラー (Audrey Pfannmuller)** によるデザインにより、メインストリートの建築家である**デイビッド・ロス氏 (Main Street Architect David Roth)** が詳細設計を担当した。

カムローズ市議会 (Camrose City Council) は「**アルバータ州創立 100 周年 (Alberta Centennial)**」の補助金 48,000 ドルを受給するために、数多くの企画案の中からファンダース広場を選出した。地元企業や個人からも多くの資金が集まった。2005 年 11 月には、**CMSP 役員会 (CMSP Advisory Board)** はアルバータ州政府から 2002 年に受給した美化金のうちの 20,000 ドルを寄付することに同意している。広場の事業は 2005 年に完成した。2006 年春には噴水が完成予定であり、カムローズ・ファンダースを称えた初のブロンズ刻板が取り付けられる予定である。

第 2 回「カムローズ・ファンダース・デイズ (Camrose Founders Days)」の開催

第 2 回「カムローズ・ファンダース・デイズ (Camrose Founders Days)」が 2005 年 8 月に開催され、大成功を納めた。

コミュニティの早期創設者のうちの 2 人が表彰され、地方の百年祭が祝われ、最初の鉄道がカムローズに開設してから 100 年を記念するイベントなども開催された。



4. 2006年の計画 (Plans for 2006)

CMSPの役員会は、「ベイリー劇場 (The Bailey Theatre)」の修復と再建を行う計画を主導している。この劇場の修復は、ダウンタウンにおける将来の発展に向けた経済を助長するものである。劇場は1908年にカミーユ・デービッド (Camille David; DAH-vid) によって建てられたもので、もともとデービッド劇場と呼ばれていた。

デービッドは、牧場に適した場所を探しながら、牛の群れと共にウィニペグからこの地にやって来たと言いつた。彼はカムローズ南東にあるロズリンド地区に適地を見つけた。

牧場経営に必要な資金をつかった後、彼は自らが劇場を建設したカムローズを訪れ、初代ウィンザーホテル (Windsor Hotel) の建設パートナーとなり、劇場から道を隔てた場所にワイン、酒、タバコを扱う店も購入した。

1912年、デービッドは1920年5月から6月までデービッド劇場の名を守ってきたスタン・ベイリー (Stan Bailey) に劇場を売却した。ベイリーが120席のバルコニーを付け加えたのはこの時期である。劇場は寄席演芸により活気が生まれ、1920年代や1930年代には無声映画へと移っていった。初めての「トーキー」は1935年の「ピーコック・アレー」で、それはアメリカで上映されてから5年後のことであった。第二次世界大戦直後まで劇場では生ステージやダンスの上演を継続していたが、1990年代半ばには映画が中心的存在となり、多様な劇場がオープンするとベイリーはもはや競争するのが困難となった。

ステージ下の楽屋には、ロビーに飾られた無声映画のカードやポスターが幾重にも山積みになれ、その下から1920年～1924年に舞台俳優たちが書き残していったサインやメッセージが発見された。

そこにはニューヨーク市のサン・カルロ・オペラ・カンパニー (San Carlo Opera Company) や、劇場を3度も訪れていた子供劇団グループのウェニペグ・キディーズ (Winnipeg Kiddies) など多くのグループが含まれていた。リチャーズ&プリングルズ・ジョージア・ミンストレルズ (The Richards & Pringle's Georgia Minstrels) という名で旅としていたジミー・&ホッキー・ホーナー (Jimmie and Hookie Horner) は壁にサインを残している。

この4つのサインに関連した1924年に、アート・フレミング・オーケストラ (Art Fleming Orchestra) が、カムローズで「冬」を過ごそうとしていたことを知った時、非常に興奮を覚えた。アート・フレミング氏の名前の隣には『足でリズムを刻む素晴らしい音楽』と記されている。また、壁には他にもメッセージが残されていた。

『アレクサンドラ・ホテル (レイトブリッジ) には近づかぬこと』 - アレクサンドラ・ホテルとはレイトブリッジに位置するホテルである。1920年代初め、ホテルのオーナーは財政問題を抱え、必ずしも出演者へ支払っていた訳ではなかった。

『フィリップ、そんな訳で私はカムローズにいる』。おそらくこれは主演者がエージェントへ宛てたメッセージであろう。

『(従って) オペラ部隊は注意すること。大勢の観衆を一行に並ばせ自ら警備にあたりなさい』。カムローズの観客は、常にオペラに対する理解力がなかったのかも知れない。

週刊カムローズ・カナディアン紙 (Camrose Canadian) の発行物を見渡すと、劇場では様々なエンターテイメントが開催されていたことがわかる。カムローズ・カナディアン紙の広告や記事から判断してデービッド/ベイリー劇場は常に賑わいのある場所であった。

1919年11月27日付の広告は『C.P.R.の7日間』と呼ばれる演劇のものであり、ショーの後には夜の11:15から深夜3:30にかけてダンスが開催されていた。

少なくとも一人の無声映画スターが劇場に顔を出している。1915年の映画「コケット」に主演したレア・マーティンである。ブロードウェイで「ブラット (Brat)」に主演した彼女は1918年、カムローズにいた。

第一次世界大戦と第二次世界大戦の間、この劇場は様々な活動のメッカであった。1918年5月、劇場では兵役に就くよう命令を受けた地元「青年」たちの送迎会が開催されている。戦没者追悼記念日のイベントは劇場で数十年開催されている。また、ボクシングやレスリングの試合までも行われていた。

2006年にはこの年に開始したトンプソン・ビルディング (Thompson Building) とカナディアン・クラブ (Canadian Club) のプロジェクトが終わりを迎える。

今年の主な任務は、**グレーター・ダウンタウン・カムローズ行動計画 (Greater Downtown Camrose Action Plan)** の作成についてカムローズ市とBRZと一緒に活動を行うことである。「メインストリート・プロジェクトとBRZ」双方のボードメンバーは、最初に2年前のダウンタウン長期計画を進展させることを提案した。2005年秋、カムローズ市議会はダウンタウン全30ブロックを包含した計画の続行に同意した。

メインストリートの範囲内で、可能性のあるプロジェクトのオーナーと話し合った後に、プログラムを利用したい人がいれば、敷地外の建物所有者とも面会する予定である。メインストリートの**建築家デビッド・ロス**は、**遺産プロジェクト (Legacy Project)** と呼ばれてきたものについて取り組みを完了させる予定である。彼は長年にわたりCMSPが取り組まない建物ファサードの設計を構築してきたが、いつかこれから先、オーナーが建物の正面を改善したいと願うかもしれない。デザインについてはカムローズ市とBRZが取り扱う予定である。

年内に行っている他の作業は、**ダウンタウン電子掲示板 (Downtown Bulletin Board)**、**カムローズ・ファンダーズ・デイズ (Camrose Founders Days)** そして**ドアズ・オープン・カムローズ (Doors Open Camrose)** である。

5. おわりに (Conclusion)

私たちは2006年に活動を開始しているが、以前はメインストリート・プログラムへの参加に興味を示さなかった不動産所有者からメインストリート・プロジェクトの活動に対して賛同と声援を頂いている。2006年には複数の重要なプロジェクトが実施されることを非常に楽しみにしている。

以上

株式会社 都市構造研究センター / 南部繁樹・中澤容子